

日・バングラデシュ外交関係樹立50周年記念式典
岸田総理ビデオメッセージ

ハシナ首相、御出席の皆様、

1972年2月10日、日本は独立後間もないバングラデシュをいち早く国家承認し、外交関係を結びました。その日から50年経った今日、この記念すべき日をハシナ首相、バングラデシュ国民の皆様とともにお祝いできることを大変嬉しく思います。

今日、日本とバングラデシュは、これまでになく親密な関係にあります。これは、民間・草の根レベルも含めた幅広い交流が進められてきた結果です。両国のよく似た国旗は私達の特別な関係を象徴しています。

私は、2014年に外務大臣としてバングラデシュを訪問し、ハシナ首相や国民の皆様から温かいおもてなしを頂きました。その際、両国の信頼に基づく友好関係と現地の目覚ましい経済発展の熱気を肌で感じました。同年に発表した「包括的パートナーシップ」は近年更に戦略的なものに発展してきています。

その中でも、「ベンガル湾産業成長地帯」構想の下で、様々なインフラプロジェクトを通じて、日本がバングラデシュのLDC卒業と更なる発展を後押ししていることを大変誇りに思います。

また、急速な発展を遂げるバングラデシュ経済は魅力的な投資先であり、年々日本からの進出企業数が増加しています。日本企業向け経済特区の開設や投資環境の改善を通じて、両国の経済関係がますます強固になっていくことを期待しています。

日本とバングラデシュは地震や洪水など困難な時に助け合ってきた真の友人です。新型コロナの感染拡大に際しては、750億円の円借款や450万回分以上のワクチン供与等を通じて、バングラデシュの取組を後押ししてきており、これからもできる限りの協力をしていきます。

東南アジアとインド亜大陸の結節点に位置するバングラデシュは、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けた重要なパートナーです。

この節目の年に、二国間関係を新たな高みへと引き上げるため、私自身もハシナ首相を始めとするバングラデシュの皆様と一層緊密に協力していく決意です。

両国の繁栄と両国国民の友好関係の更なる深化を心より祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

ドンノバッド（ありがとうございました）。

（了）